

平成23年度第2回中原区区民会議地域課題対応事業検討部会会議録

1 開催日時 平成23年10月6日(木) 午後2時~午後3時40分

2 開催場所 中原区役所5階503会議室

3 出席者

委員 杉野部会長、大下副部会長、岡本委員、寺岡委員、村山委員

事務局 石澤副区長、綱島企画課長、服部課長補佐、宮田担当係長、園田担当係長、橋本職員、深谷職員

関係職員 地域振興課 川添課長、区民課 今井課長、地域保健福祉課 小金井課長、西沢課長補佐、こども支援室 豆白室長、千葉担当課長、道路公園センター管理課 蔭山課長、松下担当係長

4 議題

(1) 会議録確認委員の選任(公開)

(2) 川崎市地域課題対応事業実施要綱について(公開)

(3) 平成24年度中原区地域課題対応事業計画について(公開)

5 傍聴者 なし

6 会議内容

(1) 会議録確認委員の選任

岡本委員を選任

(2) 川崎市地域課題対応事業実施要綱について

事務局から資料1に基づき、川崎市地域課題対応事業実施要綱について説明。質疑なし。

(3) 平成24年度中原区地域課題対応事業計画について

事務局 資料3に基づき、平成24年度中原区地域課題対応事業計画について説明

ア 安全・安心まちづくり事業について

寺岡委員 区では案内サインを設置しているようだが、まちなかに町名の表示が少ないと感じている。誰が訪れても、わかりやすいように町名を表示してもよいのではないか。

小杉駅周辺に設置している青い案内板にもわかりにくいものがある。例えば、新丸子東にある南武線の地下通路である。どちらが地下通路で、地下通路を通るとどこへ行けるのかも表示されていない。わかりやすくしてほしい。

綱島課長 ご指摘の内容については、関係部署に伝えておく。

岡本委員 中原区ガイドマップはよく利用させてもらっている。非常に分かりやすい。

大下副部会長 放置自転車対策について、小杉駅周辺は駐輪場の整備も進み、大きく改善しているように感じる。しかし、私がよく利用する武蔵新城駅周辺はまだ対策が進んでいない。また、元住吉駅周辺も駐輪場の計画はあるようだが、放置自転車は目立つ。コストや人員の問題があると思うが、もう少し対策を強化してもらえるとよい。

蔭山課長 委員ご指摘の武蔵新城駅や元住吉駅の放置自転車については、私たちも課題

として認識している。しかし、これらの放置自転車は商店街利用者によるものが多く、利害調整が難しいところもある。今後、関係者と調整し、地域の協力を得ながら、取り組んでまいりたい。

村山委員 小杉駅周辺の再開発地域について言うと、防犯に対する意識はそれほど向上していない。防災については、東日本大震災を契機に住民がとても意識するようになった。防犯については、来年以降、NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントで取り組んでいく予定である。

イ 地域福祉・健康づくり事業

岡本委員 なかはら福祉健康まつりについて、若い世代にもっと来場してもらったほうがよい。

なかはらパンジー体操については、介護予防のための体操にしては、少し難しいという意見が当初はあったが、現在はだいぶ普及してきたのではないか。

大下副会長 健康のために体操を普及させるという取組は非常によいことだと思うが、体操する場所がなくて、困るケースが多々ある。行政としては、活動の場の確保についても、併せて考えていただきたい。

ウ 総合的子ども支援事業

村山委員 小杉駅周辺の再開発地域は特に子育て世代の住民が多い。NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントでは、「パパママパーク」を開催しているが、参加者が増え続けている。子育て支援施策は中原区にとって、非常に重要であり、来年以降も力を入れて取り組んでもらいたい。

杉野部会長 子育てサロンをはじめ、来年度で10年目を迎えるが、この間、行政と協働での取組が非常に進んだ。当初は学校もあまり協力的ではなかったが、現在は非常に協力的であり、助かっている。

岡本委員 かつて、子育ては親が責任をもって行うものであり、地域で子育てを支えるという考え方がなかった。しかし、現代は孤独な子育てをしている親も多く、そうした人たちに少し声をかけてあげるだけでも、子育て支援となる。子育て経験が豊富な高齢者世代が子育て世代に声をかけられるような取組を私自身も続けて行きたい。

杉野部会長 小学校の児童との関わりを持つためには、あいさつ運動がとても効果的だった。子ども達のあいさつが増え、地域も明るくなった。

岡本委員 川崎ではマンション住まいが多いことなどにより、近所づきあいも希薄になる。住民同士が声を掛け合うような取組は効果がある。

寺岡委員 園庭がない保育園では、園児が近所の公園に遊びに行くが、遊具が満足ではないところも多い。公園の遊具を整備すれば、園庭のない保育園に通う園児も運動ができるようになる。コストはかかるが、検討してもらいたい。

エ 地域資源活用事業

- 村山委員 歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業で活用する「なかはら歴史と緑の散策マップ」は、いわゆる新住民の方に大変人気がある。こうしたマップを作成することは大変良いことである。
- 大下副会長 中原区のアメリカンフットボールチームは、国内ではとても素晴らしい成績を収めていると記憶しているが、その割には知名度が高くないのでないか。
- 綱島課長 ご指摘のような背景もあり、来年度は「なかはらパンジーボウル」を企画しているところである。
- 大下副会長 区内の市民団体が区内のスポーツチームと交流したい場合は、どこに相談すればよいのか。
- 川添課長 川崎フロンターレなど、区内を活動の拠点としている市ホームタウンスポーツ推進パートナーについては、地域振興課が日常、情報交換をしている。交流したいという要望があれば、区役所地域振興課までご相談いただきたい。
- 岡本委員 中原区役所コンサート開催事業について、最近は区役所だけではなく、平和館などでも開催している。区役所まで足を運べない高齢者などにとっては、家の近くで開催されれば、鑑賞するきっかけにもなる。今後も、区役所以外の区内様々な場所で開催してもらいたい。
- 川添課長 委員ご指摘のとおり、ここ数年は区役所以外でもコンサートを開催するようにしている。コンサートを開催できる公共施設などは、限られているため、もし、開催できる場所があれば、皆様からも情報提供いただきたい。
- 寺岡委員 小学校の体育館では、開催できないのか。
- 川添課長 体育館は音響の問題も懸念される場所である。今後、検討していきたい。
- 大下副会長 コンサートに出向けない方に対するサポートなども検討をお願いしたい。
- 川添課長 ご指摘のような対応をする一例としては、マイクロバスをチャーターしてお迎えすることが考えられる。バスのチャーターは10万円以上の予算が必要となる。予算措置にも工夫が必要であるため、今後検討していきたい。

オ 地域コミュニティ活性化事業

- 村山委員 NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントでは、10月30日に「コスギフェスタ」を開催する。新住民の中には、中原区を「ふるさと」として意識する人も多いので、大型集合住宅住民組織支援事業のような取組は続けてもらいたい。
- 寺岡委員 中原区ホームページに地域住民が主催するイベントを掲載してもよいのではないか。
また、商店街と連携した地域のまちづくり推進事業で実施するイベントは、区制40周年記念として実施してもよいのではないか。
- 綱島課長 区制40周年記念で区が取り組む事業については、次回の区民会議本会議のテーマとなっているところであり、会議での議論を踏まえて対応していきたい。

い。なお、区が主催する事業については、中原区区制40周年記念事業で取り組む内容だけではなく、その他の事業で実施するイベント等についても、区制40周年記念の冠をつけた冠事業として、実施していく予定である。